



サッカー教室で Jリーガーの技術を体験

12月15日(金)、大崎町中央運動公園において、J2リーグの大分トリニータで活躍している宇津元伸弥選手^{うつもとしんや}を招いて、サッカー教室がこなわれました。本町で活動をおこなっているFC.OSAKIスポーツ少年団の14名が参加し、宇津元選手とともに汗を流しました。

同少年団で指導をおこなう寺原健尊^{たける}さんは「子どもたちが間近でプロの技術を体験できることはなかなかないので、ぜひ今後もこのような機会を増やしていきたい」と話されました。



世界トップレベルの選手たちが訪問 デフ陸上教室で交流

2025年に東京で開催される聴覚障害者の国際総合スポーツ競技大会「デフリンピック」に向け、日本デフ陸上競技協会の皆さんが12月13日(水)から19日(火)の7日間、ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅において、強化合宿を実施しました。今回訪れたのは、ハンマー投げ世界ろう者記録保持者の森本真敏さんなど世界でもトップレベルの選手5名とスタッフで、12月15日(金)には、大崎小学校において6年生を対象に陸上教室を開きました。教室では、ハンマー投げに使用する鉄球の重さや音ではなく光でスタートの合図を知らせる「スタートランプ」の体験などで交流を深めました。

6年生の宮路大寿^{たいじゅ}さんは「どのように競技しているのかを知ることができました。デフリンピックを応援したい」、同協会副会長の高橋啓太さんは「今回の交流が、デフスポーツを知ってもらおうきっかけや、子どもたちの将来に繋がればいいと思います」と話されました。

